金属リサイクル特集2023

非鉄リサイクル 3団体トップに聞く

軽金属同友会

藤原　秀也会長

発生減も選別で差別化

――新型コロナウイルス禍で自粛を余儀なくされていた軽金属同友会の活動は正常に戻ったのか。

「役員会で今後の行事について話し合うなど、コロナ禍前の活動に戻りつつある。すでに青年部は精力的に動いている。5月はスクラップの発生についての勉強会を開催し、6月には研修旅行を実施した」

――4月に開催した同友会の会合には、日本アルミニウム協会が初めて出席した。

「5月に開催したアルミ協会の懇親会に、今度は私たちが初めて出席した。いろんな人たちの話を聞くことができただけでなく、その内容の多くはカーボンニュートラルやリサイクルについてだった。これまでにないほどアルミリサイクルに注目が集まっていると感じる。アルミスクラップに特化した団体は私たちだけであり、その道のプロだという自負もある。今後もアルミ協会とは情報交換を重ねていきたい」

――アルミ協会に加盟する会員も含め、スクラップへの関心が高まっている。

「問題としては、二次合金メーカーや軽圧メーカーとバランス良く付き合う必要がある。一方で、世の中の生産活動に関わる売り物だけでなく、建築や自動車の解体物といったくず物も、ともに発生が減ってスクラップが出てきづらい。少ない品物を国内問屋と輸出業者が取り合う構図にもなっている。軽金属同友会としては、コストを度外視してまで高いスクラップを追いかけてはいけない。私たちの強みは選別力。選別技術で差別化を図っているから」

――機械化で選別技術を向上させる動きはあるか。

「今人気のシュレッダーや選別機を導入するとなると、場合によっては億単位の資金が必要になる。とはいえ、今のタイミングで設備を導入しなければならないとも思う。人材確保はどんどん難しくなっているし、従業員にはけがをさせられない。機械化によって省人化を図る必要はあると思う」

――スクラップの発生が少ない中で集荷競争が行われれば、問屋は廃業する。

「スクラップ業者が増え過ぎたこともあり、これから淘汰が起こるだろう。ただ、海外に流れていたスクラップを国内に還流させるきっかけになり得るのではとも思う。行政の財産が海外に流出するのは良くないと、スクラップの輸出を不可とする自治体も増えてきている」

――アルミリサイクルそのものは世間からも注目されている。

「業界にとっては追い風が吹いている。二酸化炭素（CO_2）の排出量ゼロが世の中の流れであり、アルミリサイクル業界そのものがカーボンニュートラルに資する。問屋業としてもカーボンニュートラルを目指していきたい」（藤田　章嗣）

非鉄金属リサイクル全国連合会

橋本　健一郎会長

CO_2排出量を数値化

――昨年の活動実績を。

「6月に富山県高岡市で、3年ぶりに対面で総会と懇親会を開催できたことが特に印象に残っている。会員の方々と久しぶりに直接会うことができ、近況を報告し合えたことが非常に意義深かった。青年部会も全国工場見学を開催し、[illegible]を訪問し予想を超える反響を頂いて大変好評だった。そのほか経産省や伸銅メーカーとの懇談会や静岡県資源協会との情報交換などを継続して実施し、需要家や関係団体との連携を深めた」

――今年の活動計画について。

「基本方針は『ＲＥＢＯＲＮ（再生）』を掲げ、総会や理事会、懇親会などすべての行事を新型コロナウイルス前の通常モードに戻していく。直近では先月、総会・懇親会を大阪で開催し、会員だけでなく家族も呼べる和気あいあいとした会になった。業界のトピックスとしては、脱炭素で軽圧メーカーがアルミスクラップの使用比率を高める取り組みを進めており、われわれにとっては新たな需要や加工といったニーズが期待される。スクラップと地金をそれぞれ使用した場合、二酸化炭素（CO_2）排出量はスクラップの方が少ないことが広く知られているが、より具体的な数値を把握する調査を進め、関係団体や省庁にアピールしていく」

――足元のスクラップの需要動向を。

「銅スクラップは、伸銅・電線メーカーをはじめ銅箔、製錬メーカーなど需要家各社が7〜9月のロング（長期購入契約）の購入量を前四半期比で減らしており、特にピカ線や赤ナゲットなどのウワ物の需給が緩んでいる。輸出も積極的に買っている込銅や込黄銅、雑線などは需要が底堅いが、中国経済の一服で目先は不透明感が漂っている。伸銅は、IT関連をはじめ自動車端子といった自動車や住宅、半導体製造装置などの分野が停滞しており需要回復の兆候が見えない。これらの要因でスクラップの発生も低位となっている。足元は自動車生産が多少回復傾向にあるが、リフォームや家電需要は反動減で落ち込みが大きく、業界全体の需要が極端に上向くまでは考えにくい」

――相場見通しを。

「米国の金融政策と中国の景気回復の動向を注視している。米国は、ISM製造業景況感指数や卸売物価指数（PPI）を見たところ、インフレが抑制されており6月でFOMCの利上げはいったん停止した。ただ、当局の見解を予想すると7月以降の利上げ停止継続は考えにくい。一方で、米銀行破綻に伴う金融危機も台頭しており、引き続き、景況感指数や雇用統計を見ながらの対応になる。一方、中国はGDPが1〜3月期で4・5％のプラスと市場予想の4％を上回るペースだったが、国内自動車販売は景気対策だった購入支援が終了し、マイナスに転じている。今年のロンドン金属取引所（LME）相場は全体的に弱い1年になりそうで、予想レンジは銅がトン8000〜9000㌦、為替は1㌦＝133〜138円（TTM）、国内銅建値は110万〜129万円程度を予測している」（石橋　栄作）

電線リサイクル協議会

高山　周三会長

被覆材の選別・処理課題

――被覆電線の集荷環境を。

「引き続き発生難に苦しんでいる。要因としては、プレーヤーの増加による影響が大きいだろう。2021年11月には千葉市で再生資源物のヤード設置の事前許可制度などを設ける条例が施行されたが、現在も北関東を中心に新規参入業者が増え続けている。加えて、円安で各種工場が減少してしまっている影響もあるとみる。工場では、定期的に実施する受電設備の修繕や入れ替えに伴い、まとまった数量の電線スクラップが発生する。しかし、工場跡地に例えばショッピングモールやマンションが建設された場合、工場の時にあったような定期的な電線スクラップの発生は期待しにくい」

――銅ナゲットの需要動向は。

「赤ナゲットは昨年後半あたりから伸銅、銅箔、リン青銅メーカーからの引き合いが低調で、製品の需要不振が目立ち、メーカーによっては生産ピーク時と比較して購入量が2ケタ減となっているところもある。雑ナゲットは輸出向けの引き合いが旺盛なものの、母材となる条件の雑電線は依然として品薄状態。供給面には懸念が付いて回る」

――銅ナゲット事業では被覆材の処理が課題。

「ポリエチレン（PE）はサーマルリサイクルが可能で、燃料向けなどで有価の売り先がある。ポリ塩化ビニル（PVC）も一部はマテリアルリサイクルできているが、処理が難しいものは費用を支払い、産業廃棄物として処理する必要がある状況だ。加えて、近年はエコ電線や鉛フリー線、耐火仕様電線などの普及で被覆材が多様化している。これらは見た目で判別しにくく、選別する手間もかかる。製造時の成分が不明なことも多く、製品として再生利用に向けられないケースが増加している」

――そのほかに業界の課題は。

「やはり人手不足だと思う。特に引き取りの仕事が多い問屋業者からは、運転手の確保が難しいという話を耳にする。後継者不足も問題の一つだ。ナゲット事業では、被覆線の歩留まり（銅分）や被覆材の区別といった技術の伝承が必要不可欠。さらに安定的な原料集荷体制を構築することも、事業継続の上で重要な要素と考える」

――協議会の活動について。

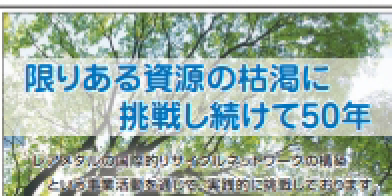
「近年は新型コロナウイルス禍で年2回のゴルフコンペのみに活動を制限していたが、5月の感染症分類の5類引き下げを受け、情報交換などを行う定例会を徐々に再開する方針。協議会は1976年の発足後、約50年が経ち、会員数は現在11社にまで減ってしまった。組合内では高齢化も課題となっている。若い世代の積極的な組合活動への参加を期待したい」

――リサイクル業界が脚光を浴びる中で、ナゲット加工の意義を。

「剥線機では難しい細線のリサイクルが可能で、焼却処理に比べ環境負荷も少ない。また、ナゲットは粒状であることから、ユーザーにとって配合・溶解しやすい原料でもある。今後もユーザーの求める品質に適切に対応しながら、安定供給に努めていきたい」（大堀　優太）

中国向け輸出ライセンス取得

◆高価買取◆
工具鋼屑（ハイス・超硬・ダイス）、ネオジウム磁石屑
二次電池屑（リチウムイオン・ニッケル水素）
レアメタルリサイクル全般
日鉄ステンレス株指定
FUJIKOSAN CO., LTD.
富士興産株式会社
本社 〒556-0016 大阪市浪速区元町1-5-7ナンバプラザビル10階 TEL.06-6630-7066 FAX.06-6630-7067
大正倉庫 〒551-0002 大阪市大正区三軒家東3-7-14
木津川倉庫 〒557-0061 大阪市西成区北津守1-8-8
URL http://www.fujikosan.jp



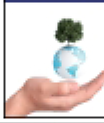
限りある資源の枯渇に挑戦し続けて50年
レアメタルの国際的リサイクルネットワークの構築という事業活動を通じて、実践的に挑戦しております。
事業内容
■廃触媒・電池・非鉄金属・貴金属・レアアース・銅滓類・Wスラッジ等のリサイクル、地金販売（Ni·Co·Mo·Cu·Zn·Sn·Mn·Bi·W·In 等）
■化学工業薬品の販売（三酸化アンチモン・TBZ・ジンクピリチオン・ナトリウムピリチオン等）
■受託加工（焙焼・乾燥・混合・溶解・粉砕・篩別・ふるい分け）
中国興業株式会社
〒553-0002 大阪府大阪市福島区鷺洲6-1-4 TEL.06-6454-1221
詳細はお問い合わせください。
http://www.chemical-metal.co.jp/index-j.html

世界を動かす、レアなアレ。
アレって何のことでしょう。
それは、レアメタル／レアアースという希少素材。
産出国も、産出量も限られたこれらを調達するスペシャリスト集団が、私たち。
自動車、インフラ、電子部品…
世界を動かす、あらゆる製造分野で
欠かせないマテリアルに、めっぽう強い専門商社です。

アドバンスト マテリアル ジャパン株式会社
ADVANCED MATERIAL JAPAN CORPORATION
TEL 03-3507-2301　URL www.amjc.co.jp
東京都千代田区永田町2丁目11番1号 山王パークタワー21階

金属リサイクル特集2023
資源循環型社会の発展を支える
有力非鉄スクラップディーラー
金属リサイクルの未来を応援します

総合リサイクル企業だから実現した
『信頼と実績』
資源物リサイクル総合商社
アルミ缶　PETボトル　古紙　廃プラスチック



株式会社 誠宇ジャパン

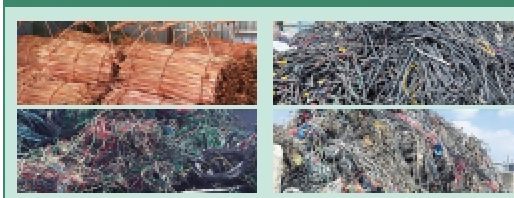
私たちは、メタルリサイクルを通して
皆様と社会に貢献出来るよう努力していきます。

株式会社 メタルドゥ　www.raremetal.co.jp/
本社 TEL.06-6635-5151
1st物流センター 大阪市此花区常吉1丁目1番76号 TEL.06-6462-5851
2nd物流センター 神戸市中央区港島南町3丁目5番4 TEL.078-306-1108
東京支店 TEL.03-5735-5070
東京物流センター 東京都大田区東糀谷6丁目2番11号 TEL.03-5735-5065

地球延命

レアメタルのリサイクルを通じて
『循環型社会』の構築に努めております。
ティーエムシー株式会社
http://www.townmining.co.jp/

地球環境を守る資源リサイクル
東世紀商事株式会社



お問合せ先・集荷ヤード
〒369-0216 埼玉県深谷市山崎字東631
TEL 048-598-5858　FAX 048-598-5857　Email:toseki@shoji.name
本社 〒162-0051 東京都新宿区西早稲田2-1-23　代表取締役 清原 真理子